



大阪歯科大学

兵庫県同窓会報

'89秋

46

も く じ

あ い さ つ.....	村井会長	1
平成元年度第1回総会.....		2
役 員 会.....		4
第1回クラス幹事会.....		7
役員会、分会長・支部長会、クラス幹事会.....		8
新 役 員 名 簿.....		10
第35回会員大会.....		12
分会，支部だより.....		16
クラス幹事だより.....		21



母校創立80年の 伝統を誇りとして

大阪歯科大学
兵庫県同窓会長

村井俊郎

さる8月5日に開催した大阪歯科大学兵庫県同窓会の会員大会は、新築間もないホテルオークラ神戸に800名余りの同窓とご来賓を迎えて、きわめて盛況裡に開催された。

同窓の団結と親睦をはかるこの会合は、開催されるたびに多数の同窓が集い、まさに大歯同窓会の躍進と団結を眼のあたりに展開する一大イベントである。

母校も平成3年には創立80周年を迎えることになる。

母校の発展を助けるとともに同窓相互の交流

をはかることを目的とした同窓会にとっても、80年の伝統はきわめて大きい喜びと誇りである。

日本の歯科界5万数千の中で1万名を越える大きな組織となった大歯同窓会の責任は重く、その役割りは大きい。

兵庫県同窓会は、仲の良い和やかな雰囲気の中で皆が連帯感に燃えながら先輩の苦労を思い起こし、後輩のため道を開く覚悟で前進したいものである。

村井会長が3選

監事に内海、河合の両氏を選出

平成元年度 第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会総会

平成元年4月8日(土)



平成元年度初の大阪歯科大学兵庫県同窓会総会は、4月8日(土)午後4時から兵庫会館5階講堂で開催され、平成元年度の事業計画ならびに予算案など5議案を原案どおり可決した。

任期満了に伴う会長、監事の選出では、村井会長の留任を決めたほか、新監事には、内海利正(中央区)、河合範夫(須磨区)の両氏が選出された。

総会は、志築専務の司会で始まり、中塚常任理事の開会のことばのあと、議長に伊藤副会長を選出。議事録署名人に田村正(灘)、前田孝俊(須磨)両氏が議長より指名されたあと、村井会長が要旨次のようにあいあつした。

(村井会長あいさつ要旨)

平成元年度初の総会を開催したところ、週末のご多忙にも拘らず多数のご参集があり厚くお礼申し上げます。

近年、歯科大学の入学定員削減問題は、大きな課題の一つだが、本年度は、全国の歯科大学の入学定員を20%削減することになった。従っ

て、わが母校も128名の入学を許可した。ひと頃は1学年で250名を収容した時代があった。今では最盛期の半分になったわけだが、さりとて、授業料を2倍にするわけにはいかない。つまるところ、大学がいかにして経営努力をするかという試練場に立たされたわけである。

現代、大歯大の学生数が700余人、教員、職員が486人、人件比率が62%である。逆にいえば誠に行き届いた現況下にある。大学経営については、評議員会でも種々審議されたが人件費をきりつめる努力が必要ではなからうか。

ちなみに、母校には425億の基金がある。21世紀に向かって基金500億を目指している。従って、全国17校の私立歯科大の中で、いちばん安定しているのが大歯大である。これも先学者の力によるものである。

ご承知のように、大学病院も60年を経て老朽化し、本館といえども建ってから40年になる。隣接地の購入等の話があったが、結局、旧病院、本館など併せて約1800坪の現有地に、平成10年を目処に高層ビルを建設する計画がやっと固まりつつある。

多難な時代ではあるが、わが母校は、まもなく創立80周年を迎え、最も安定した基盤にあり、80周年の式典と全国会員大会を併催する計画が着々と進められていることをご報告しておきたい。

会長あいさつのあと、学位受領者の表彰があり、伊藤和彦氏ほか11人の学位受領者（別掲）に、村井会長から表彰状と記念品が手渡されたあと、受領者を代表して松本薫氏から謝辞があった。

学位受領者（敬称略）

氏名	卒回	地区名	受領日
伊藤 和彦	大24	尼崎市	S 63年 6月 8日
久井 良之	大28	〃	〃
吉竹 弘行	大30	〃	〃
安田 義信	大28	西宮市	〃
大西陽一郎	大26	播磨	〃
高山 昭則	大29	〃	〃
久野 元生	大30	長田区	H 元年 3月 22日
西山 彰	大25	須磨区	〃
松本 薫	大23	尼崎市	〃
松田 哲一	大28	〃	〃
徳永 徹	大32	〃	〃



表彰を受ける学位受領者

（報告）

報告に先だち、玉川義男氏（中央区）ら18人（別掲）の物故会員の霊に黙祷した。

物故会員（敬称略）

氏名	地区	卒回	年齢	死亡年月日
玉川 義男	中央区	専11	82歳	S 63年 6月 22日
太田 実	芦屋市	専 8	81歳	S 63年 7月 10日
阿部 勉	西宮市	専 5	86歳	S 63年 7月 16日
本多 敬男	中央区	専13	77歳	S 63年 7月 29日

中村 敬	西区	大7	59歳	S 63年 8月 12日
七浦 保次	尼崎市	専26	63歳	S 63年 10月 4日
神谷 一郎	中央区	専 7	85歳	S 63年 10月 18日
向仲 正一	東灘区	専15	76歳	S 63年 11月 4日
右近 示	中央区	専14	79歳	S 63年 11月 6日
野田 一郎	東灘区	専18	73歳	S 63年 11月 8日
内富 成器	中央区	専 8	82歳	S 63年 11月 23日
前田 次郎	兵庫区	専 9	82歳	S 63年 11月 24日
早川 利夫	尼崎市	専12	82歳	S 93年 12月 2日
東 孝彦	西宮市	専31	58歳	S 63年 12月 3日
保井 巖	姫路市	専14	77歳	S 63年 12月 13日
河崎八七生	宝塚市	専25	65歳	S 63年 12月 16日
室 進	姫路市	専12	80歳	H 元年 1月 9日
藤尾 豊	東灘区	大 8	54歳	H 元年 4月 6日

以上 18名

(1) 会務報告 志築専務

会員数1507名のほか、諸会議、事業報告、会員の顕彰関係などを詳細に報告した。

(2) 会計報告 河合常任理事

(3) 本部報告 志築本部常務

先般開かれた総会で、奥野喜一会長が大歯大同窓会館の建設を表明した。さらに懸案の名誉会長には、奥野半蔵前会長に満場一致で決定した。また3年後には、大学が創立80周年を迎え、その式典と大学同窓会の全国大会が開催されることなどを併せて報告した。

（議事）

第1号議案 昭和63年度収入支出決算

第2号議案 平成元年度事業計画及び平成元年度収入支出予算

予・決算案を河合常任理事、事業計画案を志築専務から提案理由の説明がなされ、賛成多数で可決確定した。（平成元年度事業計画案、予決算書は別掲）

第3号議案 会費の額及び徴収方法について

第4号議案 会長の選出について

第5号議案 監事の選出について

会長選出については、留任の発言があり、全員挙手で村井会長を選出した。監事の選出では、前野康彦（伊丹）氏ほか4名の選考委員を決め、暫時休憩のあと、新監事に内海利正（中央区）、河合範夫（須磨）両氏が選ばれた。

協 議

平成元年度事業計画

(1) 第35回会員大会について

当番分会である丹波・但馬分会の瀧野分会長から「平成元年度の会員大会は8月5日（土）に、新築されたホテルオークラで開催を予定しており、700名の会員の参加を目指している。なお、当日のアトラクションには、県警の音楽隊のほか、デカンショ節を披露して但馬分会のカラーを出したい。また、席順は、前回は踏襲してクラス会ごとに配列したい」との報告がありこれを了承した。

(2) その他

さいごに、志水常任理事の閉会のことばで全日程を終了した。

1. 会員の学術研修に関する事項
2. 会員の福祉共済に関する事項
3. 第35回大歯大兵庫県同窓会会員大会の開催
4. 慶弔に関する事項
5. 会報の発行
6. 各歯科大学同窓会・校友会との親睦に関する事項
7. 渉外に関する事項
8. その他目的達成のために必要な事項

平成元年度第1回役員会

平成元年4月8日（土）

平成元年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会は4月8日（土）午後3時30分より兵庫会館5階ホールで開催され、総会開催、第35回会員大会につき協議した。

役員会は日程にのっとり志築専務の司会により中塚常任理事が開会のことばを述べた後、伊藤副会長を議長に選出、増田（中央区、専31回）松村（宝塚、大11回）の両氏を議事録署名人に指名し村井会長のあいさつにうつった。

《村井会長あいさつ要旨》

本朝10時より大阪歯科大学の入学式があったが、今年から20%の定員削減の年で大学でも160名の20%減の128名で点呼をされ大学院は20名であった。

定員削減は開業医にとって良いニュースであるが大学側には厳しい環境である。

今から総会に附議する議案につきよろしくご審議いただきたい。

《報告》

- 1) 会務報告 志築専務理事
総会で詳細に報告するので省略する。
- 2) 会計報告 河合常任理事
4月に入って8日間であるので藤尾豊先生（東灘区）の死亡に対し5万円の弔慰金が支出されているだけである。
- 3) 本部報告 志築専務理事
総会で報告するので省略

《協議》

- 1) 総会開催について
志築専務理事より会務報告書の内容、総会の議案、協議事項につき詳細な説明があった。
- 2) 第35回会員大会について
志築専務より播磨但馬分会の担当であるが総会の席で説明したいとの発言があり了承した。
以上で志水常任理事の閉会のことばで終了した。

平成元年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会収入支出予算書

収 入 額 20,241,000円

支 出 額 20,241,000円

収 入 の 部

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	17,640,000	17,640,000			月1,000円×12ヵ月×1,470名
第1項 会 費	17,640,000	17,640,000			
第二款 雑 収 入	1,601,000	1,601,000			
第1項 雑 入	30,000	30,000			預金利子
第2項 寄 付 金	1,000	1,000			
第3項 本 部 手 数 料	1,570,000	1,570,000			10,000円×1,470名×10% 本部より過年度分100名含む
第三款 繰 越 金	1,000,000	2,000,000		1,000,000	
第1項 繰 越 金	1,000,000	2,000,000		1,000,000	
合 計	20,241,000	21,241,000		1,000,000	

支 出 の 部

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	5,400,000	5,000,000	400,000		
第1項 事 務 費	2,000,000	2,500,000		500,000	
第2項 旅 費	1,200,000	1,200,000			
第3項 通 信 印 刷 費	1,800,000	800,000	1,000,000		名簿作成
第4項 消 耗 品 費	300,000	300,000			事務用品
第5項 雑 費	100,000	200,000		100,000	
第二款 会 議 費	3,000,000	3,000,000			
第1項 会 議 費	3,000,000	3,000,000			役員会・常任理事会
第三款 事 業 費	11,500,000	12,600,000		1,100,000	
第1項 学 術 費	500,000	1,000,000		△ 500,000	
第2項 広 報 宣 伝 費	1,000,000	600,000	400,000		会報発行
第3項 福 祉 厚 生 費	3,000,000	3,500,000		△ 500,000	
第4項 会 務 連 絡 費	1,500,000	1,500,000			幹事会
第5項 表 彰 慶 弔 費	1,000,000	1,000,000			
第6項 諸 見 舞 金	1,000,000	1,000,000			@ 20,000×50名
第7項 渉 外 費	2,000,000	2,000,000			
第8項 時 局 対 策 積 立 金	1,500,000	2,000,000		500,000	時局対策積立金会計へ支出
第四款 予 備 費	341,000	641,000		300,000	
第1項 予 備 費	341,000	641,000		300,000	
合 計	20,241,000	21,241,000		1,000,000	

自然増は予備費へ繰入

昭和63年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会収入支出決算

収 入 額 20,546,986円
 支 出 額 19,491,713円
 差引収支差額 1,055,263円

収 入 の 部

平成元年3月31日現在

科 目	本 年 度 決 算 額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,792,000	17,640,000		848,000	
第1項 会 費	16,792,000	17,640,000		848,000	
第二款 雑 収 入	1,523,627	1,601,000		77,373	
第1項 雑 入	40,627	30,000	10,627		
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本 部 手 数 料	1,483,000	1,570,000		87,000	
第三款 繰 越 金	2,231,359	2,000,000	231,359		
第1項 繰 越 金	2,231,359	2,000,000	231,359		
合 計	20,546,986	21,241,000		694,014	

支 出 の 部

科 目	本 年 度 決 算 額	前 年 度 決 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	4,678,187	5,000,000		321,813	
第1項 事 務 費	2,060,000	2,500,000		440,000	
第2項 旅 費	1,146,510	1,200,000		53,490	
第3項 通 信 印 刷 費	1,104,507	800,000	304,507		
第4項 消 耗 品 費	312,250	300,000	12,250		
第5項 雑 費	54,920	200,000		145,080	
第二款 会 議 費	2,836,580	3,000,000		163,420	
第1項 会 議 費	2,836,580	3,000,000		163,420	
第三款 事 業 費	11,976,951	12,600,000		623,049	
第1項 学 術 費	277,360	1,000,000		722,640	
第2項 広 報 宣 伝 費	765,700	600,000	165,700		
第3項 福 祉 厚 生 費	1,578,675	3,500,000		1,921,325	
第4項 会 務 連 絡 費	1,712,280	1,500,000	212,280		
第5項 表 彰 慶 弔 費	1,035,440	1,000,000	35,440		
第6項 諸 見 舞 金	1,520,000	1,000,000	520,000		
第7項 渉 外 費	3,087,496	2,000,000	1,087,496		
第8項 時 局 対 策 積 立 金	2,000,000	2,000,000			
第四款 予 備 費	0	641,000		641,000	
第1項 予 備 費	0	641,000		641,000	
合 計	19,491,718	21,241,000		1,749,282	

現金 0 普通預金 1,055,268 合計 1,055,268



〈挨拶する村井会長〉

第1回大歯大兵庫同窓会クラス幹事会は、平成元年2月26日(日)午前11時30分より兵衛会館5階ホールで開催された。

志築専務の司会で、伊藤副会長が「日曜日にもかかわらず多数ご出席いただき感謝している。」と開会のことばを述べた後、村井会長より要旨以下のあいさつがあった。

〈村長会長あいさつ要旨〉

現在兵庫県歯科医師会の会員で大歯出身者は55%位になる。一時は兵衛では大歯出身者が8割を占めていた時代もあったが、30年頃から歯科大学が増加して以来卒業校が多様化している。大歯の定員は160名ということであるが、本年からは2割削減で128名である。学生は半分になる時代である。

全会員の過半数を超えていた頃の占有率ではない。県下では16の歯科大学、歯学部同窓会が結成されており、4月には広島大学の同窓会が結成されると聞いている。

私達は県で大きな責任を負わされている。母校は近く80周年を迎える。昨年の全国会員大会は2000名を超す卒業生が集まり大歯の団結ぶりを見せた。大歯の責任は重く、6大学の出身者は年輩者が多いということもあって歯科医師会などで重要な席を占めている。

同窓会は縦の組織は出来ていたがクラス間の横の連絡を緊密にさせていただき年代層の意見をよく聞いて運営を緊密にさせていただきたいというのがクラス幹事会を作った真意である。

3月中旬には大歯の全国総会が開かれるがその席で今日の意見を反映したいと思っている。

ついで議長に塩見副会長を選出し報告に入った。

〈報告〉

本部報告 志築専務

3月11日幹事会、総会、議案として会則の改正をあげている。その他62年度の収支決算、平成元年の予算、奥野半蔵名誉会長の推挙などである。入学試験は128名の募集で約3倍の競争率であって72名の補欠が発表されている。

会務報告 志築専務理事

会員数 1519名

役員会 昭和63年4月16日(土)午後3時

役員会・分会長・支部長会 昭和63年9月13日(火)午後7時

役員会・分会長・文部長会・クラス幹事会 昭和63年11月4日(金)午後7時

総会 昭和63年4月16日(土)午後4時
第34回会員大会

昭和63年10月15日(土)午後2時
新神戸オリエンタルホテル

参加人員 689名

県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会

昭和63年12月3日(土)午後5時

九州歯科大学同窓会兵庫支部当番
オリエンタルホテル

会計現況報告 河合常任理事

〈協議〉

1) 今後の運営について

志築専務 クラス会の開催については事務局の熊谷事務員に連絡してほしい。会長、副会長、専務の都合のつき次第出席させていただく。また慶弔についても同様である。

会報は3月中に発行する。クラス幹事会、支部の報告に年2回の会報を有効に利用していただきたい。任期切れになるクラス幹事の推薦をよろしく願いたい。

2) その他

永谷クラス幹事(大28回)より大歯の略号がODCかODUかどちらが正しいか聞いた。また、本部の同窓会報の発行が予定より遅れるので原稿の内容と一致しなくなるので困るとの意見が出て村井会長より説明があった後、同じく村井会長より定員削減問題の説明があり長濱副会長の閉会のことばで終了した。

昭和63年度第1回常任理事会が3月14日(火)午後7時から兵衛会館2階会議室で開かれた。

会は志築専務の司会、長濱副会長の開会のことばで始められ、伊藤副会長の議長に選出し、寺西敏一、井堂孝純両常任を議事録署名人に指名した。

村井会長はあいさつで「前回のクラス幹事会で熱心に協議されたが、その際同窓会本部にただず案件があったが、これについて、本部常務理事会、理事会を通じて奥野喜一会長より①大阪歯科大学英文名をODUで統一すること②レタリングは角ゴシックの書体、ブルーのカラーとし③学歌は著作権問題もあり従来どおりとする④同窓会バッジも変更しない、という説明があった。

次に、同窓会報発行日の遅延については、予告どおりの発行日に合わせるよう努力する意向である、と報告を受けている。

今年度の会員大会は、新規開業のホテルオークラ神戸で開催の予定であり、昨年以上のご参加をお願いしたい」と述べた。

報告

- 1) 会務報告(志築専務)
会員数 1,519人
- 2) 会計報告(河合常任)
収入 20,374,084円
支出 15,957,980円
差引残額 4,416,104円(2月28日現在)
- 3) 本部報告(志築専務)

協議

- 1) 総会開催について
4月8日(土)午後4時から開催の総会日程について検討
- 2) 第35回会員大会について
8月5日(土)ホテルオークラで開催予定
- 3) その他

永井昇、嘉ノ海両常任理事が、次回総会で会長選出についての議案があるが、次期も村井会長でお願いしたいと発言し、拍手のなか常任理事会の総意として満場一致で村井会長を次期会長に推せんした。

最後に伊藤副会長の閉会のことばで日程を終了した。

平成元年度<臨時>役員会、分会長、支部長会、クラス幹事会

平成元年7月11日(火)

平成元年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会<臨時>役員会、分会長、支部長会、クラス幹事会合同会議が平成元年7月11日(火)午後7時より兵衛会館5階ホールで開催され、第35回会員大会につき協議した。

会議は志築専務理事の司会により、小田副会長が開会のことばを述べた後、議長に伊藤副会長を選出、議事録署名人に浜田(西宮)、小川(相生、赤穂市郡)を指名して村井会長の挨拶にうつった。



《村井会長挨拶要旨》

第35回の会員大会を8月5日に開催するが、すでに会員にご案内したところ、順調にご出席の返事をいただいている。来賓の方々も多数この大会に出席していただき大歯同窓会の団結ぶりを見ていただいている訳であるが、これも会員の皆様のご協力のお陰だと感謝している。

母校大阪歯科大学も再来年創立80周年を迎えて平成3年5月30日（金）に創立80周年記念式典を母校で行う。本部の全国会員大会をこれにドッキングして5月31日（土）に開催することになっている。

80周年を迎えた母校であるので牧野の学舎が建ったのが昭和3年、天満の旧病院が建ったのが昭和8年で共に老朽化している。歴史のない他の歯科大学はいずれも学舎を建築中であり、本学でも大阪歯科大学の将来、構想検討委員会が出来て21世紀に向けて大学の将来像を検討することになっている。現在学舎建設のため165億程度の資金が用意されており、大学の経営基盤は安定している。

つづいて志築専務より4月1日からの新役員の紹介があった後、報告事項に入った。

報告事項

- 1) 会務報告 志築専務理事
- | | | |
|--------|--------|---------|
| 会員数 | 1,496名 | 6月30日現在 |
| 物故会員 | 3名 | |
| 藤尾 豊先生 | 大8回 | (東灘) |
| 久保英生先生 | 大35回 | (尼崎) |
| 寺田完治先生 | 専17回 | (揖菟) |

ご家族が死亡されたのは8名であり弔意黙祷を行った。

- 諸会議 4月8日 総会
4月8日 役員会
名簿編集委員会 3回
会員大会打ち合わせ会 1回

2) 会計報告 河合常任理事

3) 本部報告 志築専務理事

80周年記念式典が平成3年5月30日（金）に開催される。

新キャンパス建設に伴う同窓会館の検討委員会が発足して、兵庫県からは村井会長と志築専務理事が委嘱されている。

協 議

1) 第35回会員大会について

当番分会の滝野会長より、当番分会の地域色を出すために多紀のデカンショ節を企画して会を盛り上げたいと考えている。会員の先生方のご支援をいただきたいとの挨拶があった後、各分会より参加人員の増加の報告があった。

また、志築専務理事より、兵庫県警の音楽隊のアトラクションを用意しており、村井会長がタクトを振られて学歌を3番まで歌う予定である。会場のホテルオークラは新しいので費用が相当かさむ、会費1万円いただいているが実質1万5千円位かかるとみているとの説明があった。

以上で協議を終了、長濱副会長の閉会のことばで日程を終了した。

平成元年・平成2年度大阪歯科大学兵庫県同窓会役員

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
名誉会長	奥野半蔵	学術	藍亮一郎	組織	廣田昌逸
会長	村井俊郎	〃	大矢信夫	〃	島津徹
副会長	伊藤彰彦	〃	佐藤莞爾	〃	田村正
〃	小田一尚	〃	谷茂樹	〃	瀧野俊一
〃	中塚裕	〃	高木馴次	〃	森鼻正之
〃	渡部潔	〃	大野正迪	〃	今井章
〃	長浜禎昭	〃	橋本猛伸	〃	保井諧至
専務理事	志築照和	〃	大頭孝三	〃	南木秀夫
常任理事	志水和夫	〃	住谷道夫	〃	藤井昭
庶務	小寺高志	広報	中森康二	〃	正井洋児
〃	美田良治	〃	川村幸雄	〃	鯉田英昭
〃	嘉ノ海昭吾	〃	永井愛正	〃	増田孟
〃	岡田利雄	〃	木許隆道	〃	森岡慧
〃	前田孝俊	〃	橋本卓次	〃	田村宏
〃	一瀬健二	〃	北英一	〃	河南博仁
〃	井上正俊	〃	水田吉彦	〃	安留力
〃	石田稜威夫	〃	中野浚次	〃	西條晃
〃	松村久衛	〃	豊川輝久	〃	村瀬進
〃	矢富義昭	福祉	寺西敏一	〃	中田実
会計	三坂明美	〃	赤井崇郎	〃	平田渙治
〃	末岡彬	〃	四柳嘉清	〃	井堂孝純
学術	西田真和	〃	次橋作蔵	〃	藤田義人
〃	増田勝美	〃	飯田浩司	渉外	笠原義人
〃	藤田恭吾	〃	河村宏	〃	橋川司
〃	山脇潤三	〃	池田英綱	〃	善本秀知
〃	久保龍三	〃	清水強	〃	小川靖彦

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
常任理事外	関川 健	理事	長谷川 幸弘	理事	北道 利明
〃	小坂 修	〃	守内 道信	〃	守光 昌弘
〃	蓮池 俊明	〃	杉本 孝	〃	滝本 亜樹
〃	小野 晃	〃	嘉ノ海 寿八郎	〃	浜田 邦夫
〃	宇賀 文夫	〃	香山 守	〃	志賀 泰之
〃	前野 康彦	〃	橘精 一郎	〃	小北 亨
〃	清水 保則	〃	上田 晴敏	〃	深澤 英輔
〃	清水 栄一	〃	豊後 護	〃	由良 博
〃	永井 昇	〃	安保 博之	〃	勝山 篤信
〃	天方 孝彦	〃	金月 清	〃	応谷 茂
〃	坂口 喜史夫	〃	宮本 弘義	〃	浜田 幸人
〃	長谷川 秀明	〃	糸田 英俊	〃	西山 彰
〃	記村 恭造	〃	清原 光次	〃	東 文宣
〃	西海 啓之	〃	南川 嘉昌	監事	内海 利正
〃	和田 透	〃	馬場 弘	〃	河合 範夫
〃	井上 丈夫	〃	岩田 益司	諮問委員	井上 貴之介
〃	入江 恒夫	〃	檜垣 鋭治	〃	大浦 波夫
〃	佐本 高明	〃	松岡 弥栄	〃	大竹 谷三省
理事	中村 要次	〃	原平 和彦	〃	溝井 三代次
〃	原立 要次	〃	和久 勝彦	〃	湊 信一
〃	高津 全雄	〃	合田 興世	〃	永津 良三
〃	高龍 早苗	〃	寺西 信郎	〃	磯島 吉之祐
〃	三塚 幸雄	〃	中塚 史朗	〃	津島 大麓
〃	三塚 本昇	〃	水野 康朗	〃	岡田 一真
〃	藤原 平仁	〃	高田 邦彦	〃	稲垣 田茂
〃	藤原 保英	〃	淀本 一尚	〃	和松 本清
〃	英村 新秀	〃	吉上 泰人	〃	塩見 洋三

第35回大阪歯科大学兵庫県同窓会 会員大会 新入、新卒歓迎会

新築のホテルオークラ神戸で

親 睦 の 輪



学歌斉唱でタクトをとる村井同窓会長

大会は午後3時より平安の間で志築専務理事の司会により伊藤副会長より開会のことばがあったあと、村井会長よりあいさつがあった。

《村井会長あいさつ》

わが母校大阪歯科大学は現在1万名余の同窓を有しておりますが、兵庫県におきましても1500名の仲間が健在であります。

兵庫県同窓会は同窓会本部と緊密な連絡を保ち、母校の発展をたすけ、会員の福祉と相互の親睦をはかるとともに歯科医学の研修につとめることを目的として今日まで活動を行って参りました。

現在、歯科界は高齢化社会への歩みの中で、きわめて厳しい環境下にあります。しかし、私達は歯科医師という尊い価値ある職業を目指して母校で勉強して得た知識と技倆を社会のために役立てなくてはという精神は決して後退する

第35回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会新入、新卒観迎会は、平成元年8月5日(土)午後3時より、神戸港に新装オープンしたホテルオークラ神戸で開催され600名の会員が参加して親睦の輪をくりひろげた。

ことはありません。やがてあと11年で21世紀を迎えようとする今、新しい世紀はもう手の届くところまで来ているのです。そして、それは確実に超長寿社会なのであります。歯科医療は益々その役割りを発揮し、社会は益々その価値を評価する時代であります。

このような時代に確実に対応するため、私達は一層親睦と団結をはかり、皆で力を合わせて幾多の困難な課題を克服して行きたいと存じます。

本日開催致しました会員大会は県下の同窓が一同に会し親睦と団結をはかる絶好の機会でもあります。新卒業生の皆さんも新入会員の方々もどうかこのさわやかな雰囲気をよくご覧下さい。

志水常任理事による来賓紹介につづき来賓祝辞にうつった。

《奥野喜一大歯大同窓会長祝辞》

伝統の兵庫県同窓会会員大会が厳粛のうちに盛大に幕が切って落とされた。心からお祝い申し上げたい。昨年の4月に同窓会の名誉会長の奥野半蔵会長よりパトタッチを受けて非力であるが頑張っている。

昨年の京都の大会に会員大会のスローガンである「団結と躍進」の目的達成の努力をつづけている。皆様のご協力をお願いする。

会員からのパワーと執行部のリーダーシップが混然一体となっているのが今日の兵庫県同窓会の姿であろうと思う。素晴らしいの一言につきる。ますますの発展を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

《稗田学長あいさつ》

今日は悲しいご報告をせねばならない。高須淳教授が4月25日未明急性呼吸不全でお亡くなりになった。61歳であった。ここにつつしんで先生のご冥福をお祈りする。

21世紀に向けて大学はどうあるべきか論議さ

れているが、大阪歯科大学キャンパス将来構想委員会が発足してすでに2回の会合を持っている。良い答申をいただいて将来の大学の発展の布石としていきたい。

新入会員、新卒業生が美田常任理事より紹介され代表として長岡邦男会員より謝辞があった。

なお、新入会員、新卒業生は下記のとおり。

当番分会長の瀧野但馬分会長のあいさつ、次期当番の竹谷淡路分会長のあいさつの後、小田副会長の閉会のことばで大会を終了した。

4時からはアトラクションとして、兵庫県警音楽隊（藤原智隊長指揮）による「みんなで楽しむ歌のタベ」のプラスバンドの演奏を楽しんだ後、当日最大のパフォーマンスであった村井会長が堂々と振るタクトに合わせて学歌を3番まで合唱した。

懇親会は5時より、卒業年度別のテーブル配置も好評で篠山町デカンショ節保存会の方々による『デカンショ節』のアトラクションもあり時間の経つのを忘れて懇談した。

新入会員

武田 憲明 668 豊岡市中陰字長谷190-6
林 裕司 652 兵庫県東山町3-1-8
東山ハイッ 3 F
長岡 邦男 651-13北区藤原台6-27-2
岸田 博之 659 芦屋市山手町2-12
龍田 孝夫 671-15揖保郡太子町鶴1339
小寺 修 669-13三田市三田町23-5
山科宗三郎 669-53城崎郡日高町国分寺878-8
記村 孝晃 652 兵庫区下沢通4-5-12
末瀬 裕一 653 長田区大橋本町2-1-17
石田浩太郎 658 東灘区住吉宮町4-3-6
カシオペアビル

新卒業生

足立 勝二 665 宝塚市泉町22-2
宇賀 英二 659 芦屋市公光町1-19
大矢 卓志 654 須磨区離宮前町2-9-16-301
河村 昌哲 663 西宮市甲子園口北町1-3
河南 重隆 669-22多紀郡丹南町大沢249
木下 晴代 651-11北区泉台1-2-19
北上 仁司 657 灘区城ノ下通1-1-25
志水 幸一 653 長田区片山町2-12-10
竹内 辰夫 673 明石市大蔵中町6-15
田村 功 651 中央区熊内橋通4-3-12
多和 伸介 663 西宮市二見町1-4
段 充 670 姫路市西今宿3-19-1
古市 憲史 658 東灘区北青木3-8-1
山内 義之 659 芦屋市大樹町2-15

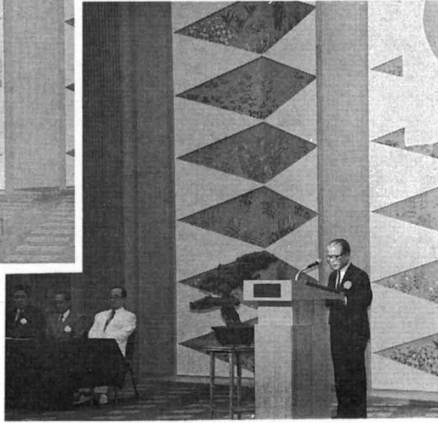
第35回会員大会

平成元年 8月5日

於 ホテルオークラ神戸



↑ 挨拶する奥野本部長



← 挨拶する稗田学長



上着は？

挨拶する村井会長 →



↑ 新卒、新入会員紹介

↓ 会場いっぱいの参加者



「皆んなで楽しむ歌の夕べ」

兵庫県警察音楽隊の演奏に酔う

来賓を囲んで →



↑ 隊長 藤原 智氏の指揮で熱演

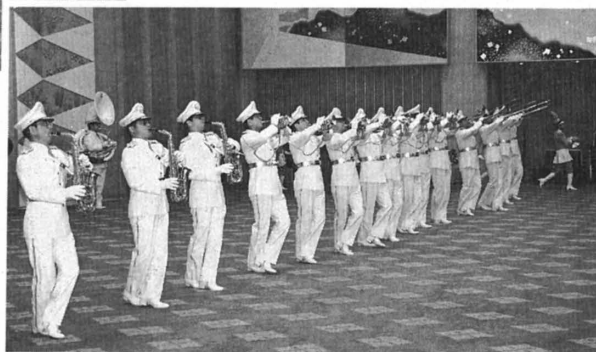
デカンショ節で →
会場もにぎわう



乾杯 →



↑ 鼓笛隊の演奏も リリしく



← 高らかに鳴り渡る
ファンファーレ



神戸分会

平成元年7月神戸分会長に推薦を戴きました。

現在、神戸分会は11支部から成り東灘70名、灘60名、中央123名、兵庫63名、長田56名、須磨47名、垂水41名、北43名、西15名、三田10名、明石63名で総会員数は591名の多くを数えます。分会としては「県同窓会と緊密なる連絡を保ち母校の発展、歯科医業の向上並びに会員相互の親睦協力を図るを目的とする」との会則に則り横の連係を十分密にしてゆかねばならぬと考えます。

そこで先輩の先生方のご指導を仰ぎ同輩、後輩の方々のご協力をお願いして与えられた重責を全とうする覚悟です。よろしくお願い申し上げます。

(神戸分会長 飯田浩司)

神戸分会東灘支部

大歯兵庫県同窓会第35回会員大会に向けて東灘支部総会を6月25日(日)午後5時30分より神戸オリエンタルホテルにおいて開催したので報告致します。

出席者、村井兵庫県同窓会長

志築専務理事

岡田神戸分会長

東灘支部他校代表者(敬称略)

松田貴久治(東医歯)、辻本 寿夫(東歯)、山口 英夫(阪大)、細見 忠雄(日歯)、藤原 知行(愛学歯)、永末 勝利(九州歯)、沼田 昭浩(日大歯)、菅沼 宏行(神奈歯)、東 哲一郎(朝日歯)

東灘支部会員(ハガキ到着順)

三坂、稲垣、関川、神田、花岡、藤田(哲)、松戸、下井田、浜田、上田、高橋、石崎(順)、栄、杉本、小宮山、厚味(真)、林、大川、滝本、飯田(昭)、小林(順)、中尾、奥野、森岡、風間、河村、古市、中村、中川、向仲、古川、森本、石崎(彦)、佐治、森(良)、藤田(八)以上総数48名で盛会裡に終了した。

なお、35回会員大会には東灘支部から46名が登録した。(東灘支部長 三坂明義)

神戸分会長田支部

全国26校に及ぶ歯科大学、歯学部から若い歯科医師がどんどん誕生して来ます。なかでも関西では歴史と伝統ある大歯卒業生の姿を、彼らは歯科界の先輩として信頼し、我々の行動を視つめている感じがします。我々はリーダーシップとしての自覚と責任は重大です。それには大歯同窓会の団結と発展は申すまでもありません。

神戸分会長田支部では、長田区歯科医師会の会員の約3分の2を占める50数名の大歯同窓会会員を持っています。県下各地の分会支部では会合を開かれていますが、残念ながら長田支部では、今迄に集まったことはありませんでした。そこで、秋には一度総会を開催しようと、長歯西海会長の要請で、県同窓会副会長、伊藤彰彦先生、同じく中塚裕先生と長歯清原副会長、それに末瀬支部長ら5人で、去る6月22日夜に集まり協議の上、総会開催の準備委員会の発足を決めました。委員(幹事)に西松元五委員長、清原光次、山中祥弘、中塚要、清水一彦(敬称略)を選びました。

第1回準備委員会を7月15日、第2回を8月18日、第3回を9月7日と委員の先生方と、西海会長も参加して頂き、末瀬支部長共々、規約の草案作成や総会の日時、場所、会費のこと、案内状の発送等々の準備に夏の暑さも忘れて精を出しております。これから1年に1度は集まろうと、計画もしております。長田支部同窓会会員の皆様にはご通知致しますので、よろしくご協力の程をお願い致します。

(長田支部長 末瀬一郎)

神戸分会垂水支部

お疲れさん38年

越村支部長後進に道をゆずる

新支部長に藤井昭氏選出

神戸分会垂水支部の昭和63年度の総会は平成元年5月13日(土)午後3時より舞子ビラにおいて開催された。

総会は庶務担当の吉田欣也先生の司会により始められ、議長に伊東大吾先生を選び新入会員の紹介のあと、会務報告、会計報告、会計決算を慎重審議の上、可決承認し任期満了による支部長の改選が行われた。

越村支部長より「長年皆様のご協力により、支部長を務めて来ましたが、今度の任期満了を潮に、新しい人に支部長を……」との言葉があり、新支部長に藤井昭氏を満場一致で選出した。

今年度の総会は、総会終了後、会員による「研究発表」と題して、研修会を行うこととした。

総会日程

- 司会 吉田 欣也
藤井 昭
支部長 越村登志彦
1. 開会のことば
 1. あいさつ
 1. 新入会員紹介
 1. 議長選出
 - 議事
 - 会務報告
 - 会計報告 並びに決算
 - 事業計画に関する件
 - 支部長改選の件
 - その他
 1. 閉会
 1. 会員による研究発表(プログラム)
 1. 根管測定の考察 坂口喜史夫
 1. 機能的矯正装置FRVを使用したⅢ級不正咬合の治験例 木下 保
 1. 循環系における血管壁と血液の役割 六島 嘉一
 1. コースス・クローネ応用の一症例 田村 忠昭
 1. 歯科医師の健康とカラダ 小林 徹

上記5題の発表が会員により行われ、大歯同窓会、神戸分会垂水支部も村井会長の常日頃言われている通り、同窓会も学術集団であるということを知り、改めて認識した。

今後、毎回の総会には、会員による学術発表をプログラムに加えることを申し合わせた。

<新支部長あいさつ>

懇親会に先立ち、新支部長・藤井昭氏は、「越村登志彦氏の後任として、今度支部長に選出されました。垂水支部の会務運営に努力致したいと思っております。役員のみでなく、垂水支部会員全員で今後の運営を計りたいと考えていますので、皆様のご協力をお願い致します」とあいさつした。

懇親会

兵庫県同窓会副会長中塚裕氏、神戸分会長岡田一三氏を来賓にお招きして、眼下に10年後には、世界最長の架橋が出来る明石海峡を望みながら懇親会が行われた。

中塚副会長は「兵衛の運営に垂水区の会員に協力していただいています。大歯大80周年また会員大会にも協力をお願いします」とあいさつがあり、岡田分会長は「いつも会務の運営には皆さんにご厄介になっています。ホテルオークラでの第35回会員大会には全員の協力をお願いしたい」とあいさつした。

宴は和気あいあいのムードで進められ、小林徹先生の背骨の矯正の実技まで加わり、盛会裏に散会した。

＜新入会員＞

兼松 陳重	大29回	奥原 康久	大11回
長谷川貴則	大29回	秀 有剛	大33回
金村 正一	大30回	佐溝 隆	大36回

＜退会会員＞

越村 公義 大23回

(垂水支部 水田)

神戸分会明石支部

この度、神戸分会明石支部の総会に於て、森俊夫支部長のあとを受けお世話させていただくことになりました。それに伴い長い間お世話いただいた役員の方々も新しく若がえりました。

明石支部は会員数64名で、明石市歯科医師会々員131名の49%を占めていますが、この比率は年々減少してきております。年齢的には先輩の先生方から後輩の若い世代まで、かたよることなくバランスの良い支部であります。

近年、歯科界は大変きびしい状況が続いていますが、支部ができて以来これといって大きな問題も起きなかったのは、同窓会々員の皆様方の自覚によると考えております。

こういった支部を引き継ぐにあたり、まず会員先生方の声を聞いた方が良いとアンケートを取りました。

その結果、第一希望は会員親善旅行

第二希望はゴルフ大会

以下テニス、囲碁、麻雀、ソフトボール大会でした。

このような意見をもとに、今後2カ年間、同窓であるという良い面を生かし、会員相互の和を大切にならばいいと思います。

なお、新しい役員は次の通り決まりました。

支 部 長	川口 豊
副 支 部 長	平崎 治彦
会 計	油谷 靖彦
庶 務	水田 象介
理事(福祉)	緒方貴美博 藤田 徳雄
(渉外)	正井 正 山田 隆造
監 事	石川 茂 伊藤 俊造

(明石支部長 川口 豊)

神戸分会三田支部

7月末日、北川重信支部長より支部の活躍状況について、「僕のかわりに君にたのむ。」と原稿用紙を渡され、ふと三田市の近状と歯科医師会会員数について考えてみることにしよう。

田園都市として開発進む三田の地も人口5万人を突破、会員数もそれに比例して23名とうなぎのぼりのように増加する今日この頃……。

(まだ数名の希望者あり)

この会員の内で、大阪歯科大学卒業生は10名で、10年前の会員数の8割が大歯卒であった頃とは、あらゆる会合(ゴルフ、その他同好会研修会)において異なる文化、教養、考え方が違って、いろいろ個人的には参考になることが多く、自分の視野が広がって、同じ歯科医師でも、「作物にたとえれば、同じ種でも天候、土地、それを育てる人によっていろいろと味が異なる。」ように思われる昨今である。

三田市において例会は毎月1回程度あり、それぞれ大歯卒の先生は会の主要なポストにつかれ、大歯卒のみの会合をもつことは少なく、三田市歯科医師会のよき原動力となって活動されておられます。

最後に我々大阪歯科大学卒業生は、各人各用がそれぞれ大歯卒であることに誇りをもつと共に、「気楽に」いついつまでも「気長に」おつきあいの出来る同志でありたい。

(三田支部 豊後 護)

尼崎分会

尼崎分会の組織、運営及び事業については、先月号で志築分会長よりおおよそ説明いたしており、今回は補足のみにさせていただきます。

尼崎市歯科医師会と尼崎市歯科医師会と大歯会との会員の比率は、昭和35年本会 145名に対して大歯会員は 115名。昭和45年 190名に対して 140名と圧倒的に大歯会員が $\frac{3}{4}$ 近くを占めていましたが、新制歯科大学の卒業生が増加するに従い、大歯卒の入会が 4人から 5人に 1人の割合に激減し、昭和55年 230名に対して 155名、平成元年に於ては 260名に対して 165名とかなりじて過半数を維持している状態です。ただ尼崎に於ては他大学同窓会とのコミュニケーションが非常によく、学閥意識が表面に出ず、多くの他大学同窓会の中でも、殆んど他大学同窓会との親睦を保っております。

尼崎分会の会費は年 1万円で、繰越金を含めて約 250万円で運営致しております。数年前迄は、隔年ゴルフ、学術講演会を兼ねた 1泊旅行を行っていましたが、種々の事情で企画が非常に難しく、最近では学術及び福祉に重点を置き特に県主催の会員大会に補助金を出すことにして 1人でも多く会員大会に参加していただくようにしています。その他常に大学及び同窓会本部、そして県同窓会の情報を各会員に通知するような態勢を整えております。近年若い先生方の同窓会離れが言われていますが、尼崎分会では特に新入会の先生方が、会に解け込みやすいように会長以下努力しており、常に魅力ある分会に致すべく励んでおります。

(尼崎分会副会長 岡田利雄)

西宮分会

昨年 7月、阿部勉名誉会長、12月には、東孝彦先生と、お 2人の偉大な柱を失なったことは、全会員の悲しみは言うにおよばず、会の運営にさいしても大きな財産を無くしました。

平成元年。そのショックを乗り越え、より一

層の団結と親睦を深めるよう各会員が努力していく所存であります。

西宮市歯科医師会の会員数は 8月末 現在 235名、その内、同窓生は 149名を占めておりますが、近年 5年間に本会に 23各の入会者がありましたが、大歯卒はわずか 6名に過ぎません。このように本会の会員数の増加に対し、逆に同窓生は減少の傾向をたどっております。

会の運営は 21条より構成される会則に則り、通常役員その他に、諮問委員、地区委員、協力委員を選出し組織の充実を計り、対外的には兵庫県同窓会に全面的に協力し、内務的には年 1回の総会、時に臨んで年数回の理事会を開催し、学術研修会、会員家族レクリエーション等を実施し、その時には他校の先生方にも参加を呼びかけ、和を広げるよう務めております。また、会員の中で高齢者（満 70歳以上、現在 15名）の先生方には毎年、敬老の日の当日、役員が各ご家庭を訪問し、お祝いを申し上げ記念品をお渡ししております。

今後とも会員相互の親睦と団結を図ることを第一と考えると共に、他大学同窓会、校友会との交流を高め、西宮市歯科医師会の発展の一翼になるよう努力していきたいと思っております。

(西宮分会会長 永井 昇)

摂津分会伊丹支部

去る 8月 5日（土）大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会ホテルオークラ神戸にて盛大に開催されました。600名に及ぶ同窓が一堂に会し、意義ある楽しい一時を過しました。

それに先き立ち 7月 9日（日）この会員大会の出席者確認もかねて、伊丹支部の総会を開催しましたところ、37名中 15名の出席で少し淋しく思われましたが、反って数々の意見提案が出され、美酒美食？も相俟って和気満々の内に散会しました。全国同窓会、兵庫県同窓会各大会のある度に、支部では参加者の人数が心配されます。4年に一度、1年に一度と数少ない機会

に普段顔を合わすことの少ない同窓との旧交を温め、分会、支部の総会では身近かな問題に一喜一考を話しあえる良い機会と思って進んで参加してくれたらなあと軽く考えるのですが……

専門学校6校の時代から30校に及ぼうとするまでに発展し過ぎた歯科大学部のある現在同窓会会員比率の低下は当然です。が故に増々団結と躍進を願って止みません。

(摂津分会伊丹支部長 小野 勉)

播磨分会

播乱に富んだ昭和から平成となり、わが播磨分会でも今年は役員の変更が行われました。伝統ある播磨分会で2期4年にわたり分会長を立派に務められた赤井崇郎先生からバトンを引継いだ今、その任の重大さに身の引締まる思いが致します。早速新執行部が発足致しました。よろしくご指導の程お願い致します。県歯科医師会における大歯同窓会員は約1500名と聞いておりますが、その内播磨分会には9支部約300名が在籍されております。地域的には東は三木美囊支部より西の西播佐用支部まで、実に県面積の三分の一以上に及び行政面でも10市23町にもなります。

このような播磨分会ではかなり以前より年次総会を当番支部を定め、各地で開催し会員相互の親睦が図られて来ました。近年にない折角の機会が学術研讃をもと、同時に学会も開催するようになって来ました。学会は多くの場合、姫路神崎支部(小田支部長)と共催で行い、これらの学会には他校同窓の先生もご聴講して頂き、親交を深めております。ただ最近はお集まりの会員の人数が大変多くなって来たことや交通の便、会外の事情等により姫路市近郊で行われることが多くなって来ました。その他の事業としては毎年ゴルフ大会も行っております。

今後多数の会員のご出席をいただき、分会の定款にある「兵庫県同窓会と緊密な連絡を保

ち、母校の発展、歯科医学の向上、会員相互の親睦を図る」ようにしたいと思っております。

(播磨分会長 嘉ノ海昭吾)

但馬分会

但馬分会は、南但、北但、美方の3支部で構成され、そのテリトリーは、兵庫地域医療計画の西南但馬圏、すなわち、国道9号線添いの朝来養父、美方郡と、北但馬圏、すなわち、出石、城崎郡、豊岡市である。往時、歯科医師会、すなわち、大歯同窓会と何がなんでも罷り通った時代は今ではもう昔の語り草となった。

現在、南但、北但、美方、3歯科医師会会員数の過半数を割り(40%)素直に言って大歯の影は少々薄くなりつつある昨今である。最近テリトリー内開業医の出身校が、北は北海道から南は九州と、全く多様化し、その中にあって日常診療に地域医療に、また、医政面において大歯同窓会の位置づけをいかにするか、また、地方分会として何をすべきかを真剣に考えるべき時が来たように思う。

但馬分会は幸い、小分会で、会員相互が公私共に周知の間柄であるが、先ず会員相互の親睦を第一とし相寄り同窓会員としての絆を一層密にし、学問と言った偏見はもちろん論外であるが、激しい変化の波が打ちよせる歯科界にあって、大歯同窓会員として団結し、矜持を持ち、あらゆる面で他校のリーダーとなるべく、また、それにふさわしい同窓会となるべく努力したい。第35回会員大会では本部におんぶされた型であったが、多くの同窓の暖いご支援で何とかホストとしての責を全う出来た。今回、ホストをすることにより、最近沈滞ムードの分会内に「何かやろう」と言った新風が吹きこまれたことは最大の収穫であったと思う。今後、これを期に本部のご指導をいただきながら地方会の特色を生かした分会運営が出来ればと思う今日この頃である。

(但馬分会会長 瀧野俊一)

淡路分会

1987年何10年振りて島内の校友を集め、旧交を温め、親睦を深めました、本年秋頃第2回目の分会集会を持ちたいと思っています。

現在、会員数は津名郡12名、洲本市16名、三原郡13名、総計41名であります。

1998年世界一の明石海峡大橋が竣工、同年頃フランス革命200年記念のモニュメントも完成されるので淡路島全島リゾート化されるための

いろんなプロジェクトが着々進捗されています。リゾート構想が実現されると、海洋性リゾートアイランド。広域リゾートアイランド。国際性に溢れるリゾートアイランド。地域の自然環境等と調和したアイランド。等と活性化された郷土淡路が実現されることになるであろう。その時になれば兵庫県会員大会を是非淡路でやらせていただきたいと思います。

(淡路分会長 竹谷三省)



専5回

亡き阿部君最後の寄稿に人間命あつての物種とは実によく言ったもので健康程大切なものはないとつくづく痛感せざるを得ないと言ったその阿部君夫妻が昨年6月事故死されるとは誠に、感無量です。兵庫県同窓会も5回生は私一人になり、その私も未だ療養中です。埼玉県柳生君もひどい難聴と脚腰が悪く歩行困難にて、奥さんの難聴も段々と悪くただ生きてるだけがやつのこと、ただ気力だけはしっかりしてるから安心してくれとのこと、名古屋の徳田君60年5月より病気つづき、昨年9月県ガンセンターで直腸のポリプ治療のため2カ月程入院、暮には電気アンカにより両足を低温火傷にかかり、正月より5月迄入院手術を受けやっと治癒しましたが脚が弱って殆んど外出も出来なくなり、好きなゴルフも4年間以上もコースに出てませんとのこと、同じ名古屋の中原久夫

君、思ったより元気な様子で昨年奥さんを亡くしたが何より痛手とのこと、安城市の加藤貞一君は同窓とは一切交際がないので安否不明とのこと電話しましたが、本人電話口に出たが何を言ってるか不明でした。伊勢市の金剛君、ひどい難聴ですが2、3年前開業をやめ老人夫婦2人暮らし、毎日テレビとワイン少々と植木が毎日の友、長男次男も大歯出で伊勢市で開業長男の長男も大歯出、次男の長女も学部の6年生とかのODC揃いの一家です。大阪の沢田政記君も元気で診療して由、元気で診療されてる大阪の西田芳太郎君に阿部君に替わって5回生会の世話役をお願いした次第です。柳生君よりも一言有りました、田中仁一君も元気に過ごしているようです。終わりに諸兄のご健勝をお祈りして頑張ってください。

(橋本 六也)

専18回 明朗、融和の輪を拡げよう

満面笑みを湛え、互いに気合いの籠った声を掛け合い、固い握手を交わしつつ、クラスメートが久し振りに集まったのは神仙閣で、平成元年7月1日(土)の午後であった。当日の欠席者は、公務出張中の現日歯常務・兵歯顧問の大浦波夫君、旅行中の元神崎歯会長、大塚正幸君、病気等による元明歯会長、脇屋直行君。元揖電歯会長、今井良典君、谷向典夫君であったが、まず、これら学友の近況報告から開会。い

づれも劣らぬ口達者な面々9名が、大テーブルを囲み、乾杯の後、酒を汲み交わしつつ、笑いに花咲く楽しい刻を過ごした。

忍び寄る軀の衰えを跳ねよけようと、気兼ねなく何んでも話し合える友であり、年代だけに話題の中心人物はやはり既に叙勲の榮に浴した、話術にも優る現津名齒会長、竹谷三省君と、現芦屋齒会長の溝井三代次君であったようだ。冗談が更に冗談を呼び、どっと笑いの渦が巻く。可笑しくて、腹を抱え、涙を流して笑った後の、爽やかなこと。しかし、その中には真実も数多く含まれ、共感を誘う。籍は既に他に移っている者の、馳せ参じてくれたのが、名医師で知られる佐井節夫君、臨床歯科医で学者、大柄で若さを誇る前田龍夫君等が、長寿時代に健やかに生きる得意の論法が始まると、皆、手帳を取り出し、耳を立てて真剣にメモする姿は、第1線での活躍意欲満々。下半身を弱らせるな、その効能に推奨できる漢方薬「八味地黄丸」「補中益気湯」が良いという……。

時間の経過を全く忘れ実に有意義な集いだから、年に少なくとも、2回はクラス会を持つとの声が大きかったが、さて、後始末、勘定に頭を抱えるあたりは、流石、迷幹事？。笑いの中には、正に寛容があり思いやりがある。心底から明るく、笑い合える同窓の友の輪を拡げたい。

(湊 信一)

専19回

昨年大阪湾周遊のグルメとクルージング2時間の洋上での総会と会食を企画致しましたが、出席者が少なく残念でした。世話人会で色々相談の結果、今年の卒業50周年は中止とし、来年「花の万博」(大阪)が開催されますので満50周年記念として大阪で総会並びに懇親会を行うことに決定しました。従って本年は総会を中止します。

年々会合に際して色々支障が多くなり、集まりにも段々淋しくなりました。現在大阪(8)、京都(5)、より兵庫県(16)が多く、クラス

会の運営は本会員が中心になり現在お世話しておりますが、今後クラス会のあり方について検討したいと思いますが、今後会合の際出来るだけ出席して戴き盛大にして有意義になるよう皆様のご協力をお願いします。

(谷上 利夫)

専21回

去る5月7日竹田卓也君が亡くなりました。腹部動脈瘤の手術の後、尿毒症を起こされたとのこと、昨年九州の総会には、あの明るい元気な顔が見られたのに残念なことです。慎んで哀悼の意を表したいと思います。活発で人ざわりのよい彼は、牧野時代から卓球部で大いに活躍しておられたし、彼が現れると、まわりがぱっと陽気に明るくなったような気がしました。亡くなられた知らせを受けても、私共の脳裏には、いつも卓也君の明るい笑顔が残っているでしょう。ただ今後天作会に彼の出席が見られないことを考えますと悲しくなりません。

6月17日兵衛会議室で会合。出席者は、稲垣、岡田、堀家、林、武田、野草、小寺の7名、8月5日の大歯同窓会に近隣誘い合って多数出席するよう約して解散しました。その甲斐あって8月5日には、家族も含めて10名が出席して、本部の思いやり通りワンテーブルを囲むことが出来ました。出席者は、武田君夫妻とお母さん。いつも奥さん孝行親孝行です。黒坂君はこの日は単身でしたが、秋の名古屋へは同伴



出席するそうです。桂君は血圧が高いのに山口県から遙々馳せ参じてくれました。若々しく元気そうでした。大塚君久し振りに顔を見せてくれました。奥さん同伴で最新型小型カメラで撮影していましたが、メカに弱い黒坂君に説明するのに苦労していました。稲垣君は一番後から席につきましたが、相変わらずの爽やか青年です。この人が現れると話題には事欠きません。授業をサボって階段教室で囲碁を争った相手の一人が、前に座っている大塚一郎君です。今でも囲碁の争いは続いているようです。但し段争いです。越村君は相変わらず忙しい身で早退しましたが至って元気でした。今年の総会は10月21日名古屋ロイヤルホテルで開催されます。いつも出席率の良い兵庫県ですが、今年も挙って出席しましょう。

(小寺 長蔵)

専23回

このたび、8月5日「ホテルオークラ神戸」での第35回兵庫県同窓会会員大会には、極力23回生の各位に参加をお願いしましたところ、下記写真の通りの23回生が集まりました。

他、健康状態の都合で欠席の方もありました。が何卒お大事に下さい。

また、今年度の全国23回生会（ふみ会）は和



8月5日の参加者

伊藤、西川、花岡、上村、八竹、繁益夫妻

歌山県小沢豊君のご尽力で9月9日白浜で開催の予定ですがご都合の許す限り多数ご参加されるようお願い致します。

(八竹 良清)

専28回

8月5日、ホテルオークラで、第35回大歯兵庫県会員大会があった。

新装のホールで「にはち会」の諸君と会った。志築、今井、磯貝、鎌田、橋川の5人で、少しさみしかった。

しかし、本部からの来賓で、京都の村上勝君、大阪の松本博君の両人も来席され、「にはち会」の座は少し賑やかになった。

鎌田君も2年程前、少し体調をくずしていたと言っていたが、すっかり元気になり、子供たちも大きくなって、とすっかり元気。

今井君も大手術のあと、以前にも増して体力も回復、ぐいぐい飲んでいた。

皆、楽しそうであった。卒業40有余年を過ぎたが、まだまだやらなければならないことはたくさんあると思う。

人生は終わる寸前までが人生である。この次、また元気で会おうと別れる。「にはち会」まだまだである。

(橋川 司)



来賓、会長を囲んで

専31回

みそひと会兵庫支部総会報告

みそひと会兵庫支部長に

宮坂与四郎君留任!!

昭和63年度、大歯同窓会みそひと会兵庫県支部の総会は、平成元年5月20日(土)午後5時より、神戸市中央区「すし鳴門」において開催した。

総会は慣例により司会に庶務担当の藤井により日程に従い行われた。

開会のことばにつづいて、昭和63年12月に死去された、故東孝彦君の冥福を祈って黙祷を行った。

宮坂支部長は「兵庫県支部長の任期を大禍なく務められたことは、皆様のご協力のお陰であったと思っています。有難うございました。本日の議事について慎重な審議をお願い致します」と挨拶した。

ついで報告事項に移り、会計現況は担当の藤井によって行われた。

昭和62年度63年度歳入、歳出決算(別紙)並びに会費徴収については可決承認された。

支部長選出には、宮坂君の留任を満場一致で決め、再び支部長をお願いすることを決めた。

平成元年度会費

年会費として	4,000円
弔費プール金として	5,000円
計	9,000円

を徴収する。

その他事項において、生田君より弔費の件について発言あり、今後、会員、家族(両親、配偶者)の不幸があった場合プール金の内から弔費を支出することと決めた。

会より弔費として

本人の場合	5,000円+楮
家族の場合	3,000円+楮

を贈る。

懇親会は、大歯同窓会志築専務理事を来賓として迎え、小坂君の挨拶と来賓紹介により始められた。志築専務理事より同窓会の現況の説明があり、「8月5日の会員大会には、協力をお願いします」と会員大会の協力を依頼された。

乾杯は小田君の音頭によって行われ、会話は、現状から、25年、30年の古きに戻ったり、和気藹々の内に時間の過ぎるのを忘れ、生田君の閉会のことばにより、再会を約して総会のすべてを終了した。

＝祝報＝ おめでとう

小坂修君 県功労者表彰

(藤井 昭)



志築専務を囲んで(すし鳴門にて)

専32回

平成元年5月、待望の久し振りのラグジュアリーな淡路の泊旅行をクラス参加者21名、心ゆくまで楽しみました。5月25日(土)午後から神戸中突堤より高速艇にて洲本に向い、福良の料亭ヤブ万で荒磯料理、西淡町のアナガホールで宿泊、翌26日(日)早朝の魚釣り、南淡町のホテルプラザ淡路の昼食と全スケジュールを消化し夕刻全員無事帰神いたしました。今回は淡路・福良の成島君、洲本の山田君の地元活魚のご馳走、心からのお土産など、いたれりつくせりのお世話に一同心から感謝します。

また、8月5日、ホテル・オークラ神戸での大歯兵庫県同窓会第35回会員大会には専32回は20数名の参加を数え、いつものごとく全学年のトップクラスの出席率だったと思います。

21世紀は人生90年の時代といわれております。長生きすることで人生50年の時人には余り考えなかったことがいろいろな面で起こってき

ます。またや生涯設計が変わりそうです。先づはいろいろと知って決断して、そして創り出すことに努力し頭を使って体を労って鍛えて、精神的にも肉体的にも余裕をもってすごしましょう。とにかく健康でいつまでもこのヤスラギの場で会える日楽しみに。

(藤本 和夫)

大5回 五愛会

お元気！ ご無沙汰してます！ 8月5日ホテルオークラのロビーで、これらの声を聞きながら、この文を書くべき原稿用紙を頂きました。さて五愛会の出席者はと気になったところ18名の参加、また、欠席の皆さんもお元気の由、喜んだ次第です。

五愛会は本年は大きな行事として大五会全国大会を新神戸オリエンタルホテルにて10月28日に行う予定で役員の先生方により準備が進んでおります。

五愛会総会も例年の如く6月25日歯科医学大会の後6時過ぎより代表幹事の井上一男先生のご来会をもち「鈴江」で行いました。役員改選も同時に行われ長谷川啓会長より、守内道信先生に会長がバトンタッチされました。

新役員は次の通りです。

会 長 守内 道信
副会長 坂口喜史夫、井上 憲司
総 務 飯田 浩司
庶 務 前田 孝俊
会 計 大塚 喜章(石原洋子、藤本満子)

他、渉外、学術等が決まりました。

大阪歯科大学同窓会報 '89夏、にも掲載された如く、10月28日、全国大会が行われます。五愛会全員で大五会の皆さんを迎えようではありませんか。その日を楽しみに。

平成元年8月10日

(杉本 孝)

大7回 兵庫七夕会

8月5日に神戸の新名所となったホテルオークラにおいて大阪歯科大学兵庫県同窓会が開かれました。兵庫七夕会々員も十七名が参加し5月の卒後30周年記念七夕会で顔を合わせて以来、久しぶりの再会であったのでいろいろ話題で楽しく賑やかな一刻を過ごしました。また、懇親会終了後には「みなと花火大会」がホテルのすぐそばで催されたのでそれをわいわいと見物しました。その際に一昨年秋に催した松茸狩りが大変な好評で本年に再度やろうという要望が多く、また、豊後君と森鼻君がお世話下さることによって挙行することに決まりました。前回と同様にゴルフと松茸狩りの2本立で10月28日(土)にやることに決定しました。後日詳細はお知らせしますが、兵庫七夕会諸君は当日はスケジュールを是非あけておいて下さるようお願いいたします。

(下井田久仁夫)



8月5日 大歯大兵庫県同窓会懇親会にて

大11回 士会

大歯11回卒業、兵庫県在住のメンバー47名の先生方は元気に働いておられるのに、なかなか一同に会する機会がありませんでした。そんな時、大野正迪先生の発案で、平成元年5月13日(土)午後6時から、神戸神仙閣で来賓に村井会長、志築専務をお迎えして楽しい一刻を過ごしました。当日都合で出席出来なかった先生も

ぜひ次の機会を作ってくださいと言う声もあり、当日話し合ったことをもう一度書かせていただきます。

- 1 当会を兵士会と称す。
- 2 年一回懇親会を開催する。
- 3 平成2年に兵庫県で開かれる予定の大歯11回卒(士会)総会の準備、実行を、兵士会メンバー全員がこれに当たる。

兵庫県歯科医師会や地方会でそれぞれに活躍を期待される年代になり今後一層の親睦を望んで、元気にすごしましょう。

(井上 典丈)

大12回 十二支会

十二支会(大学十二回卒)も、本年はや卒業二十五周年を迎えた。去る、平成元年7月8日大阪ロイヤルホテルにおいて、卒業二十五周年記念祝賀会が多数のご来賓のご来駕と数多くの懐かしい級友が相集い盛大に開催された。

卒業二十五周年となると、齢五十歳を迎える、好むと好まざるにかかわらず、社会の中で中枢として一番働かねばならない年代である。

この卒業二十五周年を期して、二十五年前のあの希望に満ちた初心にかえり、決意も新たにさらなる新しい旅立ちを誓い合い盛会裡に記念祝賀会を終了することができた。

さて、十二支会兵庫県支部においては、去る8月5日、ホテルオークラ神戸において、平成元年度の総会を開き、大頭孝三会長の任期満了にともなう役員改選にあたり新会長として、中央区開業の黒田延彦君が選出された。

黒田延彦新会長は十二支会兵庫県支部発足当初より現在迄、庶務担当幹事として活躍され、素晴らしい事務能力を発揮し、会員に信望の厚い方である。持前のリーダーシップでより強固な十二支会兵庫県支部の結束が期待される。

同窓諸兄のご後援をお願い申し上げます。

(大頭 孝三)

大13回 兵庫登美栄会

昭和40年3月に母校を卒業して、24年の月日が過ぎました。美男子、美少女だった同窓生も禿頭や白髪のおッサン、オバサン達になってしまいました。現在、兵庫登美栄会の会員は29名の男子と1名の女子、合わせて30名で構成されています。2名の同窓を失いましたが、現会員は全員無事で、日頃の診療に、会務に、また地域の奉仕活動等に頑張っています。会の活動としては学術講演会、ゴルフ旅行、定時総会と、年三回の行事を催しています。

本年は5月20日、会員の神戸大学口腔外科助教授の中西孝一君が、兵歯の学術講演会で講演しましたので、会員全員が受講しました。その後、場所をオリエンタルホテルに移し、森寺邦徳君を座長にして学術研修会を催しました。

また、ゴルフ旅行は、7月15、16日に登美栄会の全国大会が、札幌で行われたので、これを機に7月13日、14日に北海道ゴルフ旅行を行いました。3日連続のゴルフとあって、完全にバテた人もいましたが、最終日の登美栄会ゴルフコンペでは並み居る強豪を抑えて、見事、高橋靖昌君が優勝し、5kgのタラバガニを獲得しました。

10月には定時総会が予定されており、兵庫登美栄会全員が顔を揃えるのを楽しみにしています。

(井堂 孝純)

大14回 兵庫寿歯会

大学14回卒業の我々は寿歯会という全国組織の中で兵庫寿歯会をつくり、本庄紘先生を頭として現在24名である。通称「タナバタ会」の名のもとに親睦、研修活動を行っており、いつでも対応できる連絡網ですぐ一丸となれる体勢である。卒業して23年になるが、それぞれに多忙な役職をもち、実年にふさわしくがんばっているのが現状である。さて、過日大歯兵庫同窓会第35回会員大会がホテルオークラ神戸で開催

された。以前の各地域支部ごとにテーブルを囲んでのパーティーから近年の卒業年度別のテーブルとなり、一層久方振りの再会を楽しめる場となった。

この大会の当番分会が小生の支部で、その準備に何かと多忙であったが、本庄先生の尽力のお陰で、14名の登録であった。石崎、岡田、奥藤、坂本、藤田（徳）、本庄、本多、吉本、淀が当日出席者で、5時から7時までの2時間、アトラクションを楽しみながら、学生時代の昔話、前途多難な歯科界、子供の進学・就職、レジャー等の会話で、充実した1日であった。次の機会には是非とも全員元気な顔で再会したいものです。

但馬会員より一言、最近の兵庫北部は道路整備によりマイカーが増え、特にスキー、5月連休、海水浴時は大混雑です。神戸方面より現時点でのお薦めコースは、近畿自動車道舞鶴線の春日インターで降り、国道175号から427号を経て和田山へ向かう道路です。目的地によってはぬけ道もありますのでその折にはTEL下さい。

（淀 泰尚）

大15回 兵庫いちご会

9月を目前にすれば、朝夕さすがに涼しく、しのぎ易くなってきたが、台風の影響か、ここ数日、うっとうしい天気が続く。

日々、種々なニュースが平成元年度の紙面を彩るけれど、激務に疲れはてた身は、それらをよく咀嚼することも出来ず、毎日早々に就寝。1日、1週間、1カ月があっという間に過ぎる。全く、時の過ぎゆく速さには驚くばかりである。増々重くなる責任に時にはよろけつつも、卒業後20年、ただの一人も欠けることもなく、何とか頑張っている同級の皆さん、くれぐれもご自愛のほどを。

兵庫県いちご会 総会報告

- I 幹事選出の件 入江恒夫君
 会計選出の件 水田耕司君

II 会費の件

年会費 3,000円
 平成元年度より 全員納入

III 弔費

一親頭及び配偶者に 10,000円

IV 会計報告（S 61.11.16～H1.5.10）

1 収入の部

前年度繰越金	103,861
総会当日会費	112,000
年会費（S 61年度）	90,000
祝儀寄付	90,000
兵庫県同窓会補助金	30,000
預金利息	519

426,380①

2 支出の部

総会費用（当日）	310,000
慶弔費（7名）	70,000
事務通信費	7,612

387,612②

3 決算

①－②＝38,768

以上

入江君、水田君、ご苦労様ですが、今後も宜しくお願いします。

（K・H生）

大歯大17回（つつな会）

盛大に卒後20周年記念大会を挙行

大阪歯科大学第17回生（つつな会）は、今年卒後20年を迎え、8月26日（土）に卒後20周年記念大会を兵庫県支部が当番となり、ポートピアホテルで開催した。当日は、全国各地より会員145人、家族30人が出席、奥野喜一大歯大同窓会会長を初め10人の来賓の方々のご臨席も頂き盛大に催された。

第一部式典は、午後3時30分から同ホテル南館サファイヤの間で、住谷専務の司会、新門副

会長の開式のことばで始められた。続いて物故会員に対し、小室会長が代表して献花をしたあと全員で黙祷し故人の冥福を祈った。ついで小室会長は「1年1年の積み重ねで20年を迎えたが、同窓会が一枚岩で頑張ってきた結果で今日がある。今後とも友好の輪を拡げ、一致団結していきたい……」と式辞を述べた。大学寄附贈呈式に移り、大歯大学術奨励基金に寄附金が贈呈された。このあと大東副会長のことばで閉式となった。

続いて第2部記念講演に入り、「先を読む」と題して内藤國雄日本将棋連盟九段が講演し、大会に花を添えた。

第3部記念写真撮影のあと、第4部祝宴は同ホテル大輪田の間に場所を移し、午後6時から開宴となった。奥田実行副委員長の司会、青木実行委員長の開宴のことばで、和やかな雰囲気が始まった。小室会長のあいさつ、住谷専務の来賓紹介とつづき、奥野喜一大歯大同窓会会長があいさつに立ち「この20年間、歯科医師として勉強し、臨床経験を豊かにされた。これは価値あること、財産でもある。これからの道は遠く続くが、この財産を活用して、一日一日を大切に、健康第一で、医師としての本分を全うするよう地道な努力をしてもらいたい」と述べた。ついで稗田豊治大歯大学長は「今君たちは、分別がはっきりつけられる賢い年代であり、気力、体力、行動力がピークの時でもある。全ての面で頑張ってもらいたい。これからも絆を大切にし、家庭、歯科界、母校に反映するように」と祝辞を述べた。

村井俊郎大歯大兵庫県同窓会会長は「地域社会で国手としての精神を発揮されたい」と述べたあと、声高らかに乾杯の音頭をとった。

懇親会はタレントの浜村淳氏の軽妙な司会のもと、生バンドのバックミュージックが流れる中和気あいあいのうちに進められた。内藤國雄氏の「おゆき」、村井会長の「サントワマミ」など熱唱のあと、ラッキーカード抽せんが始まるころは最高潮に盛り上がった。



浜村氏の司会で自慢ののどを披露する村井会長

野田寛教授にあいさつを頂いたあと、矢富義昭君のエールのもと、学歌を斉唱し、寺延実行副委員長の閉宴のことばで祝宴を終了した。

翌27日は、折悪しく台風17号の直撃を受け、ゴルフ組はハーフで切り上げ、高知の山下善彦君が優勝となった。一方、観光組は港めぐり、六甲山上でのバーベキュー料理を予定していたが中止となった。主催者としては、まことに恨めしい台風であった。

ご来賓名(敬称略)

大阪歯科大学同窓会会長	奥野 喜一
大阪歯科大学学長	稗田 豊治
大阪歯科大学兵庫県同窓会会長	村井 俊郎
大阪歯科大学同窓会専務理事	新田 孟
大阪歯科大学病院副院長	古跡養之眞
大阪歯科大学兵庫県同窓会副会長	中塚 裕
大阪歯科大学兵庫県同窓会専務理事	志築照和
大阪歯科大学教授	野田 寛
神戸市歯科医師会会長	岡田 一三
日本将棋連盟九段	内藤 國雄

(文責 奥田健)

大27回

兵庫飛翔会は、今年6月24日、神仙閣に於て同窓会を開き、互いの親睦を深めました。

兵庫飛翔会が、年1回の会合を持つようになって3年が過ぎ、やっと、同窓会の運営を支え、活動してゆく基礎らしきものが、固まって来たと認識しております。幸い、同級、同地域の同窓会組織ということで、皆、気心も知れており、幹事の力量不足にもかかわらず、会の運営が、円滑に行われていることは、本当にありがたいことです。今年は、会として電話連絡網を整備し、会員相互の連絡が、密にできる体制を整えました。まだこれから、会の運営上、必要な体制を整えて行かなければなりません、難しい問題も有り、会員の意見を十分聞きながら、進めて行きたいと思えます。会員の皆さんは、年1回の同窓会に、どんどん顔を出して、いろんな意見を聞かせて下さい。お願いします。

さて、今年は、我々大学27回卒業生にとって、大学を巣立って10年という節目の年に当たります。久し振りに、学年のクラス会が、9月30日に大阪のホテルプラザに於て開かれる予定です。兵庫飛翔会の皆さんの、多数の出席を、お願いします。

(井口 利彦)

ような人間になるのかを問い直すことです。つまり目標をあくまで自己の内面に求めた結果、他にどうあるべきかとも言えます。

開業歯科医師のほとんどが、保険医でありましょうから、出来高払い制度の中にいるわけです。何かをすれば、何かを得られるという習慣がついています。どんなに自己に厳しくても、習慣は人格や人間性を変えるという可能性が出てきます。

他の人に色々なことをしてあげる、また、その行為自体を喜べる。報酬を一切期待したり、気にしたり、意識したりしない。そんな自分を目標に生きてゆきたい——そんなことを思う今日この頃であります。

さて、今年の庚申会の全国大会は、神戸で開催されます。兵庫県の皆さんで、全国の庚申会々員の皆さんにいい思い出になるよう、何かひとつやってみましょう。

人に出会うと元気になる。元気の気。気の交流。庚申会の母体はもともと、そんなところにあるのではないのでしょうか。

(永谷 敏)

大28回 庚申会

兵庫県庚申会の皆様、お元気にご活躍のことと存じます。

歯科医師の平均寿命は、60歳を超えるか超えないかであります。とすれば、もう私たちは人生の半分以上が終わったということでありませう。今が我々が、今後、どのような目標に向かって生きていくのかを決定する大切な時であります。お金を貯める。趣味の充実を計る。死ぬまで研究を続ける。色々と考えられると思えますが、最も大切なことは、自分自身が、自分自身の人生に対してどのような姿勢を持ち、どの



平成元年10月1日

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話(078)351-4181

編集発行人 志 築 照 和